ですし。

そのほか、妻と野菜や花づくりを楽しんでいます。

**佐藤**　悠悠自適で羨ましいですね。大柳さんご夫妻はいかがですか。

**弘幸さん**　自分たちの子育ても一段落したこともあり、里親として子どもを預かるようになったのが、八丈島赴任中でした。

都会に比べて田舎は悪い刺激が少ないですし、子どもも友だちや地域に恵まれ、元気に生活できています。

**満子さん**　それから空港が近い、これも魅力ですね。空港から杵築に向かうときに通る海の見える国道は特に素晴らしい。

山本昭義さん[73]満子さん[70]、大内在住。大阪で広告企画会社勤務後、9年前に移住、現在は三光坊区の区長も務めている。また、自宅では農業の傍ら竹炭製造に取り組んでいる。

**恵子さん**　意外と知られてませんが、大田地域はホタルのきれいなスポットがたくさんあるんですよ。

**佐藤**　ホタルといえば、山浦地区の山蔵川が有名ですね。これからがまさにシーズンです。

**恵子さん**　素晴らしい自然がたくさん残っているという点では本当に良い環境ということだと思います。

**佐藤**　市長、杵築を誉める意見がたくさん出てますね。

**市長**　本当にありがたいですね。現在、杵築は小京都として売り出していますが、日田や津和野など全国にたくさんあるので、ここはひとつ、例えば「サムライのまち」として売り出してみたい、と考えています。外国人も喜びますし。

## 杵築には財産がある。でも、知名度は低い。

**佐藤**　皆さんが田舎暮らしを満喫しているということがよく分りました。これから、もっと多くの人に杵築に移住してもらうためのアイデアなどございますか？

**恵子さん**　私はこの大田地域で里親家族を増やすのが夢です。

愛情と語彙が少ない子どもたちに、優しい人が多い、こんな素晴らしい田舎で育ってほしいんです。

ある日のこと、隣人が畑にモグラ退治の風車を付けてくれてたんですね。私たちがいない間に。こんな地域、あります？本当に感謝しています。

それから、子どもの教育環境を考えれば早急な学校統合が望ましいですね。

私はいま、小学生を対象としたバレーボールチームの指導もしていますが、経験不足からか、大きな大会ではつい緊張してしまう。少なすぎる環境よりは、多い環境のほうがいい。子どもだって、友だちは多いほうがいいでしょう。

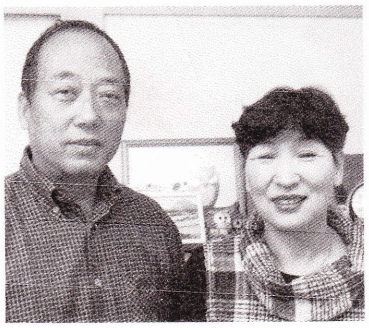
**弘幸さん**　それから、私が田舎に望むのは「職業」なんです。決して「収入」じゃありません。

退職後も何十万、何百万も稼ごうなんて考えている訳じゃないんですが、特に男性は仕事がなくなった途端に生活の張りがなくなるものなんです。杵築地域ではミカン畑の休耕が増えているそうですね。それに携わるのもいいと思いますよ。

**市長**　横岳自然公園のキララ館（天体望遠鏡施設）の館長が空席ですからいかがですか（笑）。

**恵子さん**　女性に比べて男性は田舎に溶け込むのが不得意ですから、移住後も職業に就けたり、地域のグループに迎えてもらえることは重要ですね。

**敬三さん**　杵築は、本当に素晴らしい伝統や歴史や遺産があるけれど、他県の人はほとんど知らない。でも足を運んだ大抵の人は驚く。特に、一松邸からの眺めは



大柳弘幸さん[61]恵子さん[53]、大田石丸在住。東京都で教員を勤め、昨年移住。離島勤務の経験など、ど、現在4人の子どもを預かる里親として活躍している。

いたころ、慰問がてらに披露したことがあったのですが、特に高齢者はナツメロを演奏すると喜んでくれるので、ぜひこれから披露の場をつくりたいですね。

**佐藤**　私が理事を勤めているNPO法人「山香郷」が運営する「風の郷」では6月からビアガーデンが始まるので、ぜひそちらで演奏を（笑）。

**敬三さん**　いいですね（笑）。それから、合併もしたことですし、市内にたくさんいるであろう愛好者とゴルフコンペを楽しみたいです。